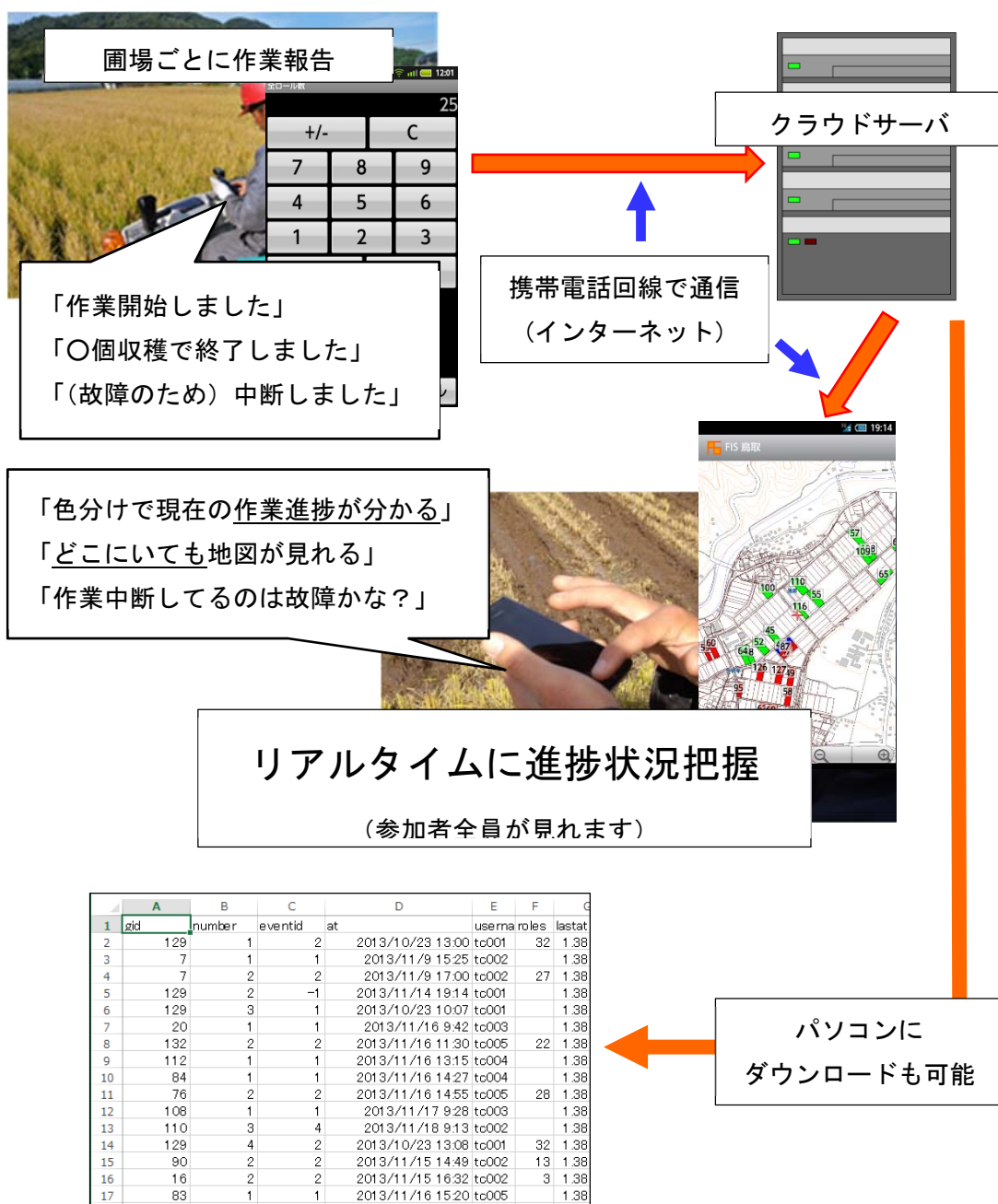


2 収穫作業記録作成アプリ FIS

2.1 このアプリについて

このアプリは、WCS イネのコントラクター組織を念頭に、収穫作業における逐次変化する進捗状況を把握するためのものです。

オペレータがスマートフォン（Android 4.0 以上）を用いて、圃場ごとに作業開始、終了を報告すると、クラウドストレージサービスを経由して、グループ全員が進捗状況の変化を見ることができるようになります。



本アプリの特長は次の通りです。

- ・ インターネットで接続しているため、現場を離れているときでも進捗状況を把握することができます。特にコントラクターリーダーが状況を把握するのに非常に有効です。
- ・ スマートフォン、タブレット等安価な製品を使用するので、導入費用が低く抑えられます。
- ・ 蓄積したデータはパソコンでも使えます。
- ・ 作業中断と再開の報告もできるので、故障時の報告と状況把握に利用できます。

なお、収穫作業を念頭に置いています。数値を 1 項目のみ記録する場合、数値の記録が無い場合には、他の作業でもご利用頂けます。

入までの手順

現時点では、個別にお問い合わせを頂き、当方で設定を行うようにしています。詳細は FIS ウェブサイトをご覧ください。

FIS ウェブサイト URL

本アプリに関する最新情報については、FIS ウェブサイトをご覧ください。

URL は <http://www.finds.jp/fis/> です。

2.1.1 アプリに必要なもの

本アプリに必要なものは次の通りです。

- ・ スマートフォン Android 4 以上
 - オペレータ（記録作成者）ごとに 1 台をご用意ください。
 - コントラクターリーダー用の閲覧専用スマートフォンが必要ならさらに 1 台をご用意ください。
 - スマートフォンに登録されている Google アカウントを忘れないで下さい。
- ・ 圃場区画データ (GIS データ)

2.1.2 導入までの手順

まず、FIS ウェブサイトからお問い合わせ下さい。折り返し担当からメールをお送りしますので、次のデータ等をお渡しく下さい。

- ・ 圃場区画データ
- ・ スマートフォンに登録されている Google アカウント一覧
(パスワードはお伝えにならないで下さい)

設定が完了した後に、スマートフォンの Gmail (キャリアメールではありません) に、アプリダウンロード URL を通知します。

※ 現時点では、アプリの一般配布を行いません。詳細はお問い合わせ下さい。

※ 現時点では、圃場区画データをお送りいただき、セッティングする必要があります。

2.2 記録ツールで行う記録

2.2.1 記録する内容

このツールは、次に示す「できごと」の時刻を記録するためのものです。

- ・ 新しく圃場に入る時→「作業開始」
- ・ ひとつの圃場の作業を終了した時→「作業終了」
- ・ 圃場内で作業停止して復帰する予定の時→「作業中断」
- ・ 作業中断後復帰した時→「作業再開」
- ・ 終了前に圃場を離脱して他の方にまかせる時→「離脱」

2.2.2 地図表示版独自機能

- ・ リセット (指定した圃場の「開始」等全てがリセットされます)

2.3 記録ツールの操作 (簡易版)

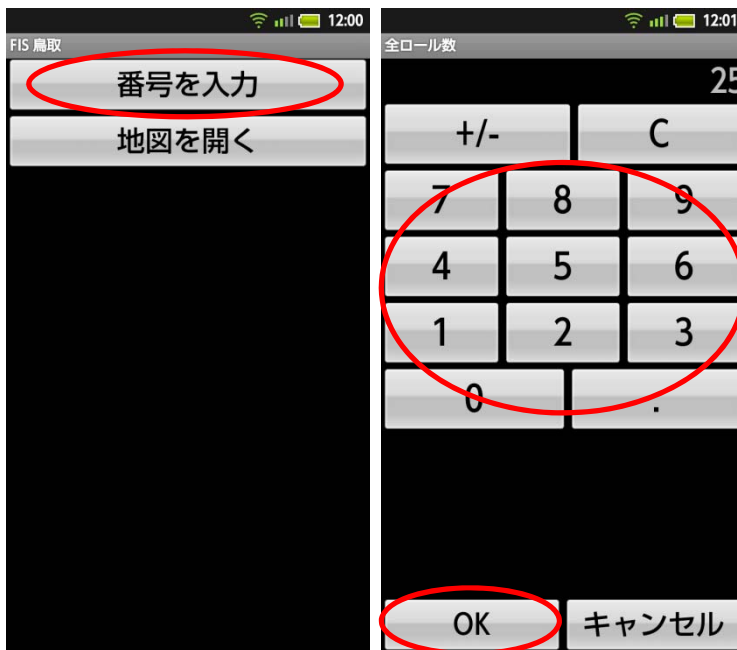
2.3.1 ツールの起動

ツールは、アプリケーション一覧から「FIS」と名前の付いたアイコンをつつきます。アイコン画像は次の通りです。



2.3.2 作業開始記録

新規に圃場に入る際には、作業開始記録を行います。「番号を入力」をつつき、続いて数字を入力して「OK」をつつきます。



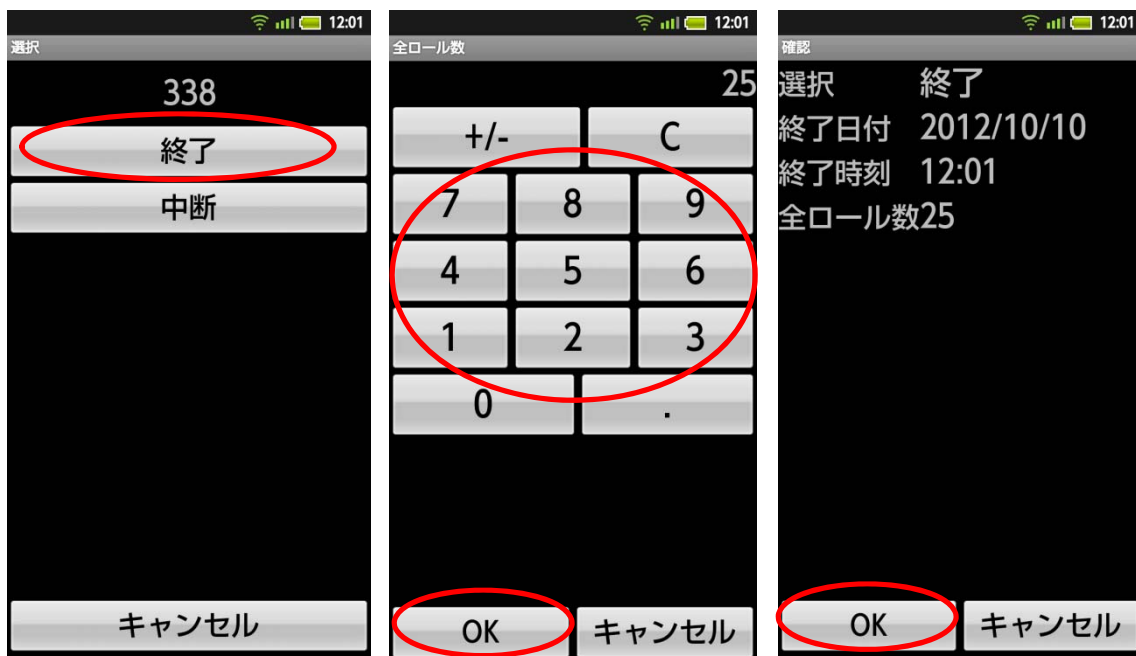
圃場番号が正しい場合には「開始」が現れますのでつついて下さい。確認画面が現れるので「OK」をつついて下さい。記録作成が完了すると「戻る」とだけ表示されるので、こ

れをつついて終了します。



2.3.3 作業終了記録

作業開始記録によって作業中と認められる圃場がある場合には、作業終了記録が行えます。



2.3.4 作業中断記録

作業開始記録によって作業中と認められる圃場がある場合には、作業中断記録が行えます。入力内容は「終了」と同じです。



中断記録におけるロール数はメモのためのものです。終了記録作成時に上書きされます。

2.3.5 作業再開記録

作業中断記録によって中断中と認められる圃場がある場合には、作業再開記録が行えます。



2.3.6 離脱記録

故障して他の方に応援に入ってもらったり、他の圃場に応援に行ったりして、現在作業中の圃場を他の方に行ってもらふことになる場合には、「離脱」を行います。

2.4 記録ツールの操作 (地図版)

待ち受け画面上の「FIS 鳥取」をつつくと記録ツールが起動します。待ち受け画面が表示されていない場合には、休止状態から復旧させて下さい(1に記載)。

2.4.1 地図版と簡易版の切り替え

待ち受け画面で「FIS 鳥取 設定」(スパナふうの絵)と書かれているものをつつくと、設定画面が開きます。

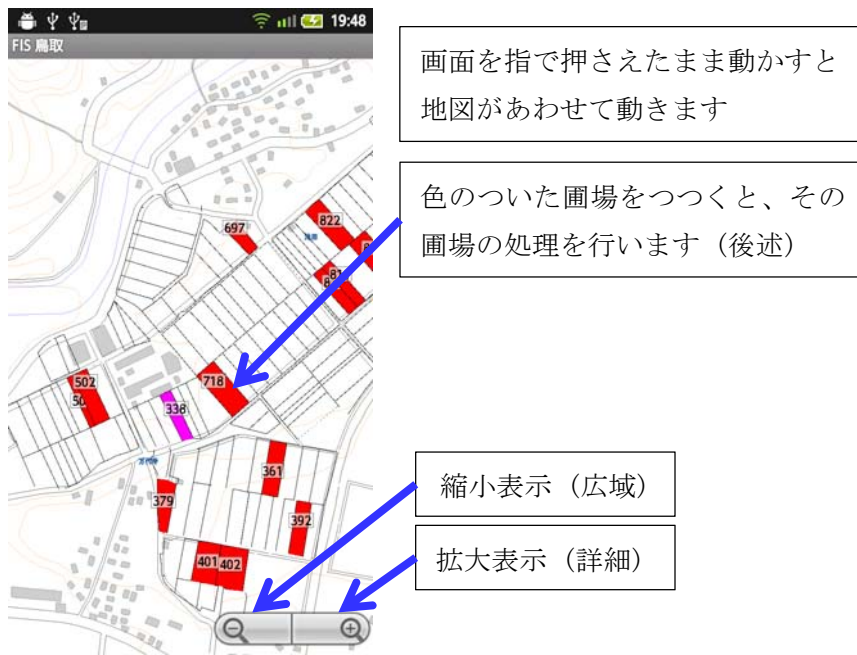


最も上にある「簡易版実行」のをつつくと切り替わります。チェックが入っている場合には簡易版が実行され、チェックが入っていない場合には「地図版」が実行されます。



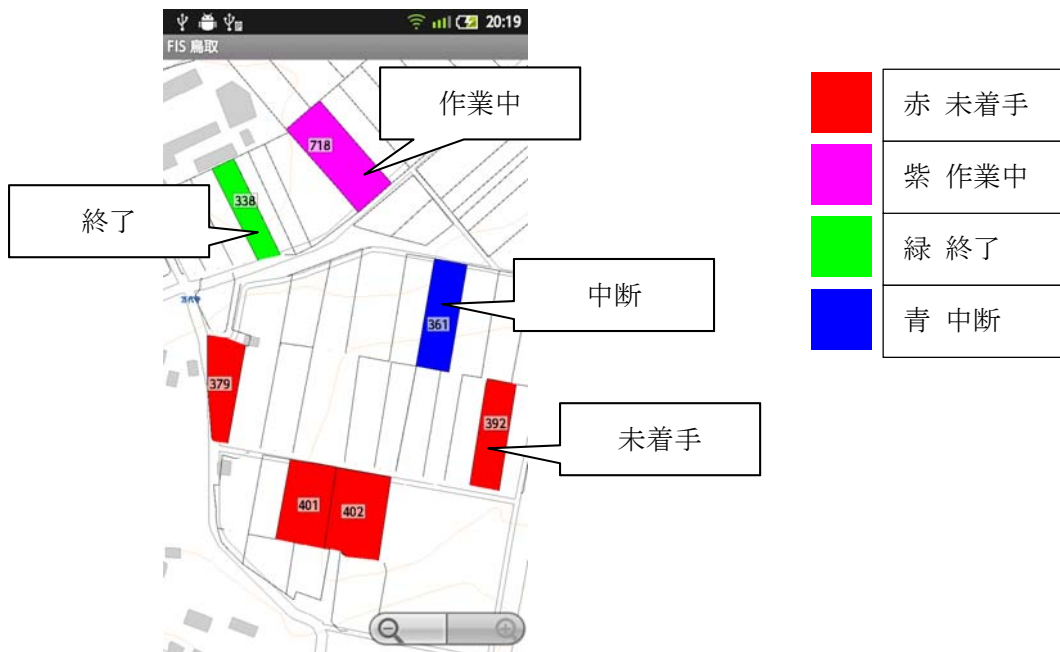
2.4.2 地図の操作

- ・ 地図は、指で画面をおさえて上下左右にずらすと、それに合わせて移動します。
- ・ 地図画面右下の「+」で拡大表示、「-」で縮小表示します。



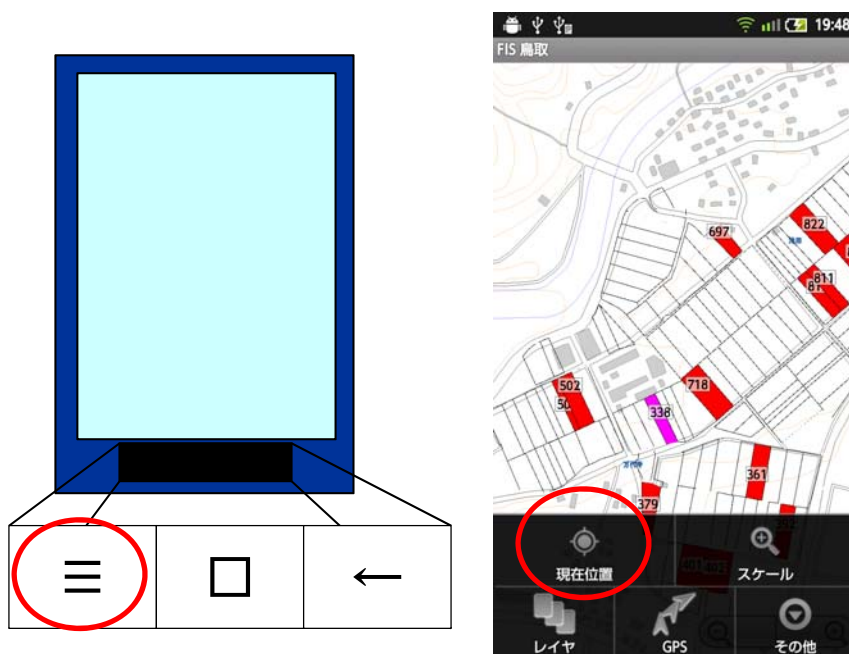
2.4.3 圃場の色と状態

圃場の色と状態の関係は次の通りです。



2.4.4 現在位置への移動

メニューボタン(電話機下端に3つ並んでいるボタン 、、 の左端の) を押し、続いて画面上の「現在位置」をつつくと現在位置に移動します。



2.4.5 圃場記録の操作

地図上で色つきの圃場をつつくと、処理選択画面が表示されます。



記録表示

記録作成の履歴を上から古い順に表示します(次の図の左側)。ここで「東部コントラクター 1」となっているのは、携帯電話機内の電話帳データを参照したものです。これをつつくと、電話をかける直前の画面まで行くことができます(次の図の右側)。



記録作成

簡易版とほぼ同じですが、日付、時刻を現在時刻以外に変更できます。簡易版より冗長になりますが「OK」をつついていけば作成できます。

リセット

基本的に使いません。その圃場の開始・中断・再開・終了の記録をリセットします。全て消えますのでご注意ください。

2.5 データのダウンロード

インターネットに接続されているパソコンから、バックアップやデータ処理のために、データのダウンロードができます。

まず、Google Drive (<https://drive.google.com/>) にアクセスしますログインが求められますので、スマートフォンで使用している Google アカウントとパスワードを使用してください。

次のような画面が出るので、テーブルを選択して下さい。



テーブルは次の通りです（「...」の部分は異なります）。

- ・ fis_..._geom (土地区画データ)
- ・ fis_..._events (記録作成ログ)
- ・ fis_..._status (現在の圃場ごとの状態)

ウェブページの「File」をクリックし、「Download」をクリックすると、CSV 形式でダウンロードできます。

